

保護者の皆様へ

平成29年3月

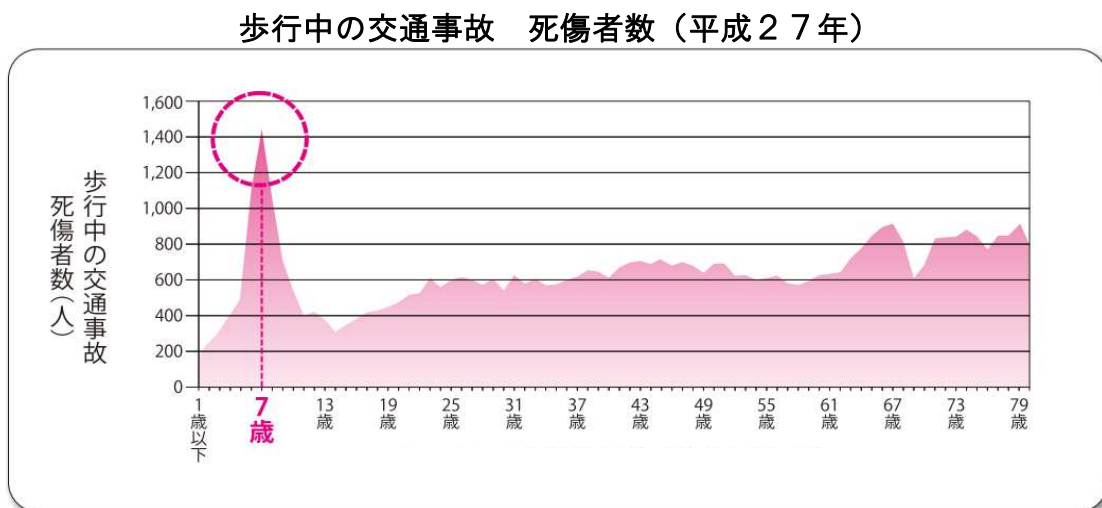
リ ス キー ー **Risky 7**

佐久市福祉部子育て支援課
佐久市教育委員会学校教育課

～小学校入学前・後の交通安全指導（佐久市プログラム）～

歩行中の交通事故は7才（小学1年・2年）で多発しています！

そ
こ
で



出典：ITARDA INFORMATION No.116 【公益財団法人交通事故総合分析センター】

[留意したいこと]

小学校入学前後の交通事故を防ぐために、入学までに、また小学校低学年において

「危険からの隔離」ではなく、

「自分で安全確認する力を育む」必要があります。

例えば

- 入学前に、保護者と子どもで小学校までの通学路を歩いてみる。
ただし、保護者が見守りながらも、子どもに安全確認させ、GO!サインを出させる。
- 家庭で話し合ってみる。
 - ①「通学路」「家の周り」など、普段使う道路で気を付けないといけない場所はある？
 - ②知らない道路を歩くとき、どんなことに気を付ける？

お問い合わせ先 佐久市役所

福祉部子育て支援課

電話 62-3149

または

教育委員会 学校教育課

電話 62-3478

それでは、

1 通学路を実際に歩いてみましょう

子どもと一緒に通学路を歩き、特に安全確認が必要な場所を子どもの目の高さで点検し、安全な通行方法を実際の道路で指導しましょう。安全確認の主役は子どもです。

2 「とび出し」の危険性を指導しましょう

道路を渡る前に必ずいったんストップし、右と左をよく見て、近づいてくる車があるときは通り過ぎるまで待つことを繰り返し指導しましょう。

子ども自身が「ここで渡るとあぶない」と感じられる指導が大事です。

3 信号の色の意味や利用方法を教えましょう

横断歩道を渡るときは、どの信号を見るのか、押しボタン式信号はどう使うのか、青信号で渡るときでも安全を確かめて渡る、同じ青信号で曲ってくる右左折車に気をつけるなど、実際の道路で理解させましょう。

4 直前直後横断の危険性を指導しましょう

車のすぐ後ろや前から渡ると、安全が確認しにくく、ドライバーからも見落とされやすいことがわかり、よって見通しの良いところで渡る必要があることを指導しましょう。

5 保護者自身が模範行動をしましょう

保護者自身が交通ルールを正しく理解して、いつも安全通行を実践し、子どものお手本になるようにしましょう。